

科目区分	専門基礎分野	科目名	薬理学	対象学生	第1学年
		単位数 (時間数)	1単位 (30H)	学 期	第2学期
担当講師	薬剤師				
科目目標	<p>1. 医薬品の生体内作用、薬剤の体内変化を理解する。  2. 薬物療法における医薬品の取り扱いと薬効評価を理解する。</p>				
授業概要	<p>第1～14回 1. 薬理学の概要 (講義)  1) 薬理学の概念    2) 医薬品開発    3) 医薬品と関係法規  2. 薬理作用  3. 薬物動態 (吸収・分布・代謝・排泄)  4. 薬物動態 (薬物動態と薬理作用)  5. 薬物相互作用  6. 薬物の有害作用  7. 化学療法 (抗生物質、抗癌剤、免疫抑制剤、消毒剤等) の作用と取扱い  8. 中枢神経系作用薬の作用と取扱い  9. 末梢神経作用薬の作用と取扱い  10. 循環器系作用薬の作用と取扱い  11. 呼吸器系、消化器系、生殖器系の作用と取扱い  12. 検査、診断薬の作用の取扱い</p> <p>第15回        終了試験</p>				
看護師国家試験出題基準	<p>主な薬剤の作用と副作用 (有害事象)、抗感染症薬、抗癌薬、強心薬、抗不整脈、狭心症治療薬、抗血栓薬、降圧薬、昇圧薬、利尿薬、消化性潰瘍治療薬、下剤、抗アレルギー薬、副腎皮質ステロイド薬、糖尿病治療薬、中枢神経作用薬、麻薬、消炎鎮痛薬、禁忌薬物、保存方法、薬理作用に影響する因子、薬物療法、薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄)、薬効</p>				
授業の進め方	<p>形態と機能での学習内容を想起しながら、講義形式ですすめる。</p>				
履修のポイント・留意事項	<p>薬物の有用性と有害性の両側面を明らかにし、看護に活用できるようにする。  薬物療法を受ける対象の看護と併用して学習する。</p>				
テキスト	<p>系統看護学講座 薬理学 医学書院</p>				
評価方法・配点	<p>授業への取り組み状況、終了試験にて総合的に評価する。</p>				